CSSとは

HTMLを飾り付けしてくれる。（文字の色を変えてみたり、大きさを変えるなど）

HTMLの中に記述もできるし、別のファイルに記述することもできる。

要素名に対してどういった飾り付けをするのかを指定していく。

HTMLでは要素名と呼ばれていたがCSSではセレクタと呼ばれている。

## 書き方の説明

### サンプル

セレクタ {

プロパティ: 値;

}

### 書き方

h1 {

color: red;

}

セレクタ・・・h1

プロパティ・・・color

値・・・red

### 考え方

どこの {

なにを：どうする

}

**セレクタにはHTMLの飾り付けしたい要素を入力。**

h1を飾り付け！宣言

colorを指定するので **h1** の文字の色を変えたい！

値にはプロパティは？

文字の色は **red** です。

テキストエディタでCSSの記述をたくさん書いたものを、基本的に「css」フォルダに「○○○.css」という名前で保存する。基本的に保存をする際は文字コードUTF-8で保存してください。

## HTMLページにスタイルシートを適用する

HTMLページにスタイルシートを適用するには、先ほど保存したファイルをHTMLページから呼び出すが基本です。

もちろん、HTMLページの中にスタイルシートをまとめて記述する事もできます。

### どうやって呼び出すの？

HTMLページから.cssファイルを呼び出すには、<head>タグの配下で<link>タグを呼び出すだけです。

### サンプル

<head>

<link rel=”stylesheet” href=”css/main.css” />

</head>

href属性には、呼び出したいスタイルシートへのパスを指定します。「css/main.css」とは、「現在のフォルダ配下のcssフォルダの、またその下のmain.cssファイル」という意味です。

「css/main.css」の部分は、.cssファイルの実際の保存先や名前に応じて変えていかないといけません。

## cssファイルの考え方

1.htmｌタグで指定する場合、2.id値で指定する場合と3.クラス名で指定、の3パータンがあります。

#### 1.htmlタグ名で指定する

「タグ名{...}」の形式で特定のタグ(要素)に対してスタイル付けできます。例えば<body>に背景色をつけるなどです。

body {

background-color:#ccc;

}

#### 2.id値で指定する

「#id値{...}」(戦闘はシャープ)の形式で、特定のid値を持ったタグに対してスタイル付けです。

id値は、それぞれの要素に割り振られた背番号という感じで捉えてください。

「#id値{...}」を利用するということは、特定の要素ひとつにだけスタイルを割り当てます。

たとえば、サンプルでは以下のように、id値が”result”である要素に対してスタイルを適用しました。

#resullt {

background-image: url(../image/bg.jpg);

background-color: white;

}

#### 3.クラス名で指定する

「.クラス名{...}」(先頭はドット)の形式で、特定のクラス(class属性)を持ったタグに対して、スタイル付けできます。特定の役割をもった、複数のタグに対して共通のスタイルを適用したい場合に利用します。クラスとは、タグを意味的に分類するグループのようなものと捉えてください。

たとえば、ボタン形状の要素に対しては、一律に、class属性の値をbtnmenuとしておくと、同じ役割を持つタグに同じスタイルを適用しやすくなります。

.btnmenu {

margin: 5px;

padding: 5px;

}

#### 4.1～3の組み合わせ

1～3のセレクタは、互いに組み合わせることもできます。組み合わせによって、より目的のタグをと特定しやすくなります。

a.btnmenu {…} class属性がbtnmenuである<a>タグ(「要素.クラス」の形式)

ul a {...} <ul>タグ配下の<a>タグ(セレクタを半角スペースで区切る)

#result > a {...} id=”result”である要素直下の<a>タグ(セレクタを「>」で区切る)

div, p {...} <div>タグ、または、<p>タグ(セレクタをカンマ「,」で区切る)

### 基本CSS

color ・・・ 文字色（前景色）を指定する

background ・・・ 背景に関する指定をまとめて行う

background-attachment ・・・ 背景画像の固定・移動を指定する

background-color ・・・ 背景色を指定する

background-image ・・・ 背景画像を指定する

background-position ・・・ 背景画像の表示開始位置を指定する

background-repeat ・・・ 背景画像のリピートの仕方を指定する

font ・・・ フォントに関する指定をまとめて行う

font-style ・・・ フォントをイタリック体・斜体にする

font-variant ・・・ フォントをスモールキャップにする

font-weight ・・・ フォントの太さを指定する

font-size ・・・ フォントのサイズを指定する

font-family ・・・ フォントの種類を指定する

font-size-adjust ・・・ フォントのサイズを調整する

font-stretch ・・・ フォントを縦長・横長にする

line-height ・・・ 行の高さを指定する

text-align ・・・ ブロックコンテナ内の行の揃え位置・均等割付を指定する

text-justify ・・・ 均等割付の形式を指定する

vertical-align ・・・ 縦方向の揃え位置を指定する

text-decoration ・・・ テキストの線・色・スタイルをまとめて指定する

text-underline-position ・・・ 下線の表示位置を指定する

text-indent ・・・ 一行目のインデント幅を指定する

text-transform ・・・ 大文字・小文字・全角文字への変換を指定する

white-space ・・・ ソース中のスペース・タブ・改行の表示の仕方を指定する

letter-spacing ・・・ 文字の間隔を指定する

word-spacing ・・・ 単語の間隔を指定する

text-shadow ・・・ テキストに影をつける

width ・・・ 幅を指定する

max-width ・・・ 幅の最大値を指定する

min-width ・・・ 幅の最小値を指定する

height ・・・ 高さを指定する

max-height ・・・ 高さの最大値を指定する

min-height ・・・ 高さの最小値を指定する

margin ・・・ マージンに関する指定をまとめて行う

margin-top ・・・ 上マージンを指定する

margin-bottom ・・・ 下マージンを指定する

margin-left ・・・ 左マージンを指定する

margin-right ・・・ 右マージンを指定する

padding ・・・ パディングに関する指定をまとめて行う

padding-top ・・・ 上パディングを指定する

padding-bottom ・・・ 下パディングを指定する

padding-left ・・・ 左パディングを指定する

padding-right ・・・ 右パディングを指定する

border ・・・ ボーダーのスタイル・太さ・色を指定する

border-color ・・・ ボーダーの色を指定する

border-style ・・・ ボーダーのスタイルを指定する

border-width ・・・ ボーダーの太さを指定する

border-top ・・・ 上ボーダーのスタイル・太さ・色を指定する

border-top-color ・・・ 上ボーダーの色を指定する

border-top-style ・・・ 上ボーダーのスタイルを指定する

border-top-width ・・・ 上ボーダーの太さを指定する

border-bottom ・・・ 下ボーダーのスタイル・太さ・色を指定する

border-bottom-color ・・・ 下ボーダーの色を指定する

border-bottom-style ・・・ 下ボーダーのスタイルを指定する

border-bottom-width ・・・ 下ボーダーの太さを指定する

border-left ・・・ 左ボーダーのスタイル・太さ・色を指定する

border-left-color ・・・ 左ボーダーの色を指定する

border-left-style ・・・ 左ボーダーのスタイルを指定する

border-left-width ・・・ 左ボーダーの太さを指定する

border-right ・・・ 右ボーダーのスタイル・太さ・色を指定する

border-right-color ・・・ 右ボーダーの色を指定する

border-right-style ・・・ 右ボーダーのスタイルを指定する

border-right-width ・・・ 右ボーダーの太さを指定する

overflow-x ・・・ はみ出た要素の左右の表示方法を指定する

overflow-y ・・・ はみ出た要素の上下の表示方法を指定する

overflow ・・・ はみ出た要素の表示方法を指定する

position ・・・ ボックスの配置方法（基準位置）を指定する

top ・・・ 上からの配置位置（距離）を指定する

bottom ・・・ 下からの配置位置（距離）を指定する

left ・・・ 左からの配置位置（距離）を指定する

right ・・・ 右からの配置位置（距離）を指定する

display ・・・ 要素の表示形式（ブロック・インライン・フレックス等）を指定する

float ・・・ 左または右に寄せて配置する

clear ・・・ 回り込みを解除する

z-index ・・・ 重なりの順序を指定する

visibility ・・・ ボックスの表示・非表示を指定する

clip ・・・ ボックスを切り抜き表示（クリッピング）する

direction ・・・ 文字表記の方向（左右）を指定する

unicode-bidi ・・・ Unicodeの文字表記の方向を上書きする

table-layout ・・・ テーブル（表）の表示方法を指定する

caption-side ・・・ テーブル（表）のキャプションの位置を指定する

border-collapse ・・・ セルのボーダーの表示の仕方を指定する

border-spacing ・・・ セルのボーダーの間隔を指定する

empty-cells ・・・ 空白セルのボーダーの表示・非表示を指定する

list-style ・・・ マーカーに関する指定をまとめて行う

list-style-image ・・・ マーカー画像を指定する

list-style-type ・・・ マーカー文字の種類を指定する

list-style-position ・・・ マーカーの表示位置を指定する

marker-offset ・・・ マーカーとの間隔を指定する

content ・・・ 内容（コンテンツ）を挿入する

quotes ・・・ 引用符を設定する

counter-increment ・・・ 要素の連番（カウンタ）の値を進める

counter-reset ・・・ 要素の連番（カウンタ）の値をリセットする

outline ・・・ アウトラインのスタイル・太さ・色を指定する

outline-color ・・・ アウトラインの色を指定する

outline-style ・・・ アウトラインのスタイルを指定する

outline-width ・・・ アウトラインの太さを指定する

cursor ・・・ カーソルの形状を指定する

page-break-before ・・・ 印刷時の改ページ位置を指定する

page-break-after ・・・ 印刷時の改ページ位置を指定する

page-break-inside ・・・ 印刷時の要素内での改ページを避ける

orphans ・・・ 改ページされる際の前ページの最低行数を指定する

widows ・・・ 改ページされる際の次ページの最低行数を指定する

page ・・・ 適用するページボックス名を指定する

size ・・・ ページボックスのサイズと向きを指定する

marks ・・・ トンボを印刷するかどうかを指定する

BasicImage() ・・・ 透過・回転・反転・グレースケールなどを指定する

fliph() ・・・ 左右反転する

flipv() ・・・ 上下反転する

invert() ・・・ 色（色相・明度・彩度）を反転する

xray() ・・・ X線効果（グレースケールにして反転）を適用する

Alpha() ・・・ 透過表示にする

Chroma() ・・・ 特定の色を透明にする

MaskFilter() ・・・ 指定した色でマスクをかける

Glow() ・・・ 背後から光を当てたような効果を与える

DropShadow() ・・・ ぼかしのない影をつける

Shadow() ・・・ ぼかしのある影をつける

Blur() ・・・ ぼかす

MotionBlur() / blur() ・・・ 方向を指定してぶれさせる

Wave() ・・・ 波状に歪めて表示する

Pixelate() ・・・ モザイク表示にする

Emboss() ・・・ 浮き彫り表示（エンボス）にする

Engrave() ・・・ 彫り込み表示（エングレーブ）にする

Matrix() ・・・ 二次元面を傾けたような表示にする

Gradient() ・・・ 背景と内容の間にグラデーションの面を表示する

volume ・・・ 音量（ボリューム）を指定する

speak ・・・ 読み上げ方法を指定する

pause ・・・ 要素の前後の音声の一時停止をまとめて指定する

pause-before ・・・ 要素の前の音声の一時停止を指定する

pause-after ・・・ 要素の後の音声の一時停止を指定する

cue ・・・ 要素の前後の合図音（サウンドアイコン）をまとめて指定する

cue-before ・・・ 要素の前の合図音（サウンドアイコン）を指定する

cue-after ・・・ 要素の後の合図音（サウンドアイコン）を指定する

voice-family ・・・ 声の種類を指定する

speech-rate ・・・ 読み上げる速さを指定する

pitch ・・・ 声の高低を指定する

pitch-range ・・・ 声の高低の幅を指定する

stress ・・・ アクセントの強弱を指定する

richness ・・・ 声の豊かさを指定する

play-during ・・・ 背景音（BGMなど）を指定する

speak-punctuation ・・・ 句読点や記号を読み上げるかどうかを指定する

speak-numeral ・・・ 数字の読み方を指定する

speak-header ・・・ 表見出しの読み上げ方法を指定する

azimuth ・・・ 音声が聞こえてくる水平角度（方向）を指定する

elevation ・・・ 音声が聞こえてくる垂直角度（高さ）を指定する

要素型セレクタ（タイプセレクタ） ・・・ 特定の要素にスタイルを適用する

全称セレクタ（ユニバーサルセレクタ） ・・・ すべての要素にスタイルを適用する

classセレクタ（クラスセレクタ） ・・・ 特定のclass名がつけられた要素にスタイルを適用する

idセレクタ ・・・ 特定のid名がつけられた要素にスタイルを適用する

:link擬似クラス ・・・ 未訪問のリンクにスタイルを適用する

:visited擬似クラス ・・・ 訪問済のリンクにスタイルを適用する

:hover擬似クラス ・・・ カーソルが乗っている要素にスタイルを適用する

:active擬似クラス ・・・ クリック中の要素にスタイルを適用する

:focus擬似クラス ・・・ フォーカスされた要素にスタイルを適用する

:lang擬似クラス ・・・ 特定の言語を指定された要素にスタイルを適用する

:first-child擬似クラス ・・・ 最初に現れる子要素にスタイルを適用する

:first-line擬似要素 ・・・ 要素の最初の行にスタイルを適用する

:first-letter擬似要素 ・・・ 要素の最初の文字にスタイルを適用する

:before擬似要素 ・・・ 要素の直前に内容を挿入する

:after擬似要素 ・・・ 要素の直後に内容を挿入する

属性セレクタ ・・・ 特定の属性を持つ指定要素にスタイルを適用する

属性（値）セレクタ ・・・ 特定の属性（値）を持つ指定要素にスタイルを適用する

属性（値候補）セレクタ ・・・ 属性値候補と一致した場合にスタイルを適用する

E[foo^="bar"] ・・・ foo属性の値がbarで始まるE要素CSS3

E[foo$="bar"] ・・・ foo属性の値がbarで終わるE要素CSS3

E[foo\*="bar"] ・・・ foo属性の値にbarを含むE要素CSS3

E:root ・・・ 文書のルートとなる要素CSS3

E:nth-child(n) ・・・ n番目の子となるE要素CSS3

E:nth-last-child(n) ・・・ 後ろから数えてn番目の子となるE要素CSS3

E:nth-of-type(n) ・・・ n番目のその種類の要素CSS3

E:nth-last-of-type(n) ・・・ 後ろから数えてn番目のその種類の要素CSS3

E:last-child ・・・ 子として最後のE要素CSS3

E:first-of-type ・・・ 最初のその種類の要素CSS3

E:last-of-type ・・・ 最後のその種類の要素CSS3

E:only-child ・・・ 子として唯一となるE要素CSS3

E:only-of-type ・・・ 子として唯一となるその種類の要素CSS3

E:empty ・・・ 要素内容が空となるE要素CSS3

E:target ・・・ リンクのターゲット先となるE要素CSS3

E:enabled ・・・ 有効となっているユーザーインターフェース要素（テキストエリアなど）CSS3

E:disabled ・・・ 無効となっているユーザーインターフェース要素（テキストエリアなど）CSS3

E:checked ・・・ チェックされているユーザーインターフェース要素（ラジオボタン・チェックボックスなど）CSS3

E:not(s) ・・・ sで指定するセレクタに当てはまらないE要素CSS3

E ~ F ・・・ E要素の後ろにある同じ階層のF要素CSS3

複数のセレクタ ・・・ 複数のセレクタに同じスタイルを適用する

子孫セレクタ ・・・ 子孫要素にスタイルを適用する

子セレクタ ・・・ 子要素にスタイルを適用する

隣接セレクタ ・・・ 直後に隣接している要素にスタイルを適用する

## colorプロパティ

colorプロパティは、文字色を指定する際に使用します。

サンプル・・・001.html

## backgroundプロパティ

backgroundプロパティは、背景に関する指定をまとめて行う際に使用します。

サンプル・・・002.html

## background-attachmentプロパティ

background-attachmentプロパティは、画面をスクロールする際、 背景画像をその位置に固定されたままにするか、スクロールに伴って移動するかどうかを指定します。

値

fixed・・・背景画像の位置が固定され、スクロールしても動かなくなります。

scroll・・・スクロールに伴って、背景画像も移動します。

サンプル・・・003.html

## background-colorプロパティ

background-colorプロパティは、背景色を指定する際に使用します。

サンプル・・・004.html

## background-imageプロパティ

background-imageプロパティは、背景画像を指定する際に使用します。

<body>や <table>だけではなく、 <p>、<div>、<span>などの要素にも背景画像を指定することができます。

サンプル・・・005.html

## background-repeatプロパティ

background-repeatプロパティは、背景画像のリピートの仕方を指定する際に使用します。

サンプル・・・006.html

## fontプロパティ

fontプロパティは、フォントに関する指定をまとめて行う際に使用します。

指定できるのは、 font-style、 font-variant、 font-weight、 font-size、 line-height、 font-familyの6つのプロパティの値です。

サンプル・・・007.html

## font-styleプロパティ

font-styleプロパティは、フォントのスタイルを指定する際に使用します。

指定できる値は、標準(normal)、イタリック体(italic)、斜体(oblique)です。

normal→標準フォントで表示します。これが初期値です。

italic→イタリック体フォントで表示します。

oblique→斜体フォントで表示します。

サンプル・・・008.html

## font-sizeプロパティ

font-sizeプロパティは、フォントのサイズを指定する際に使用します。

サンプル・・・009.html

## font-familyプロパティ

font-familyプロパティは、フォントの種類を指定する際に使用します。

サンプル・・・010.html

## font-size-adjustプロパティ

font-size-adjustプロパティは、フォントの種類の違いによるサイズのバラつきを調整して、テキストを読みやすくする際に使用します。

サンプル・・・011.html

## line-heightプロパティ

line-heightプロパティは、行の高さを指定する際に使用します。行の高さには負の値を指定することはできません。

サンプル・・・012.html

## text-alignプロパティ

text-alignプロパティは、ブロックコンテナ内の行の揃え位置・均等割付を指定する際に使用します

サンプル・・・013.html

## text-justifyプロパティ

text-justifyプロパティは、text-alignプロパティの値に justify を指定した際の、均等割付の形式を指定する際に使用します。

サンプル・・・014.html

## vertical-alignプロパティ

vertical-alignプロパティは、行のなかでのテキストや画像などの縦方向の揃え位置を指定する際に使用します。

サンプル・・・015.html

## text-decorationプロパティ

text-decorationプロパティは、テキスト傍線のつけ方・色・スタイルをまとめて指定する際に使用します。

サンプル・・・016.html

## text-indentプロパティ

text-indentプロパティは、文章の段落などの一行目のインデント幅を指定する際に使用します。インデントには負の値を指定することもできます。

サンプル・・・017.html

## text-transformプロパティ

text-transformプロパティは、大文字・小文字・全角文字への変換を指定する際に使用します。

サンプル・・・018.html

## white-spaceプロパティ

white-spaceプロパティは、ソース中のホワイトスペース（連続する半角スペース・タブ）・改行の表示方法を指定する際に使用します。

サンプル・・・019.html

## letter-spacingプロパティ

letter-spacingプロパティは、文字の間隔を指定する際に使用します。 文字の間隔にはマイナスの値を指定することもできます。

サンプル・・・020.html

## word-spacingプロパティ

word-spacingプロパティは、単語の間隔を指定する際に使用します。 単語の間隔にはマイナスの値を指定することもできます。

サンプル・・・021.html

## text-shadowプロパティ

text-shadowプロパティは、テキストに影をつける際に使用します。

サンプル・・・022.html

## widthプロパティ

widthプロパティは、 <TABLE>・ <TD>・ <IMG>・ <INPUT>・ <TEXTAREA>・ <SELECT>などの領域の幅を指定する際に使用します。

サンプル・・・023.html

## max-widthプロパティ

max-widthプロパティは、 <IMG>・ <INPUT>・ <TEXTAREA>・ <SELECT> などの領域の幅の最大値を指定する際に使用します。 最大値を指定することで、これらの要素の幅を一定範囲内に収めることができます。

サンプル・・・024.html

## min-widthプロパティ

min-widthプロパティは、 <IMG>・ <INPUT>・ <TEXTAREA>・ <SELECT> などの領域の幅の最小値を指定する際に使用します。 最小値を指定することで、これらの要素の幅を一定範囲内に収めることができます。

サンプル・・・025.html

## heightプロパティ

heightプロパティは、 <TABLE>・ <TD>・ <IMG>・ <INPUT>・ <TEXTAREA>・ <SELECT> などの領域の高さを指定する際に使用します。

サンプル・・・026.html

## max-heightプロパティ

max-heightプロパティは、 <IMG>・ <INPUT>・ <TEXTAREA>・ <SELECT> などの領域の高さの最大値を指定する際に使用します。 最大値を指定することで、これらの要素の高さを一定範囲内に収めることができます。

サンプル・・・027.html

## min-heightプロパティ

min-heightプロパティは、 <IMG>・ <INPUT>・ <TEXTAREA>・ <SELECT>などの領域の高さの最小値を指定する際に使用します。 最小値を指定することで、これらの要素の高さを一定範囲内に収めることができます。

サンプル・・・028.html

## marginプロパティ

marginプロパティは、上下左右のマージンをまとめて指定する際に使用します。 上下左右を異なるマージン幅にしたい場合には、スペースで区切って複数の値を指定します。

サンプル・・・029.html

## margin-topプロパティ

margin-topプロパティは、上マージンを指定する際に使用します。

サンプル・・・030.html

## margin-bottomプロパティ

margin-bottomプロパティは、下マージンを指定する際に使用します。

サンプル・・・031.html

## margin-leftプロパティ

margin-leftプロパティは、左マージンを指定する際に使用します。

サンプル・・・032.html

## margin-rightプロパティ

margin-rightプロパティは、右マージンを指定する際に使用します。

サンプル・・・033.html

## paddingプロパティ

paddingプロパティは、上下左右のパディングをまとめて指定する際に使用します。 上下左右を異なるパディング幅にしたい場合には、スペースで区切って複数の値を指定します。

サンプル・・・034.html

## padding-topプロパティ

padding-topプロパティは、上パディングを指定する際に使用します。 パディングには負の値を指定することはできません。

サンプル・・・035.html

## padding-bottomプロパティ

padding-bottomプロパティは、下パディングを指定する際に使用します。パディングには負の値を指定することはできません。

サンプル・・・036.html

### padding-leftプロパティ

padding-leftプロパティは、左パディングを指定する際に使用します。パディングには負の値を指定することはできません。

サンプル・・・037.html

## padding-rightプロパティ

padding-rightプロパティは、右パディングを指定する際に使用します。パディングには負の値を指定することはできません。

サンプル・・・038.html